

反映状況票

(単位:百万円)

省庁名	調査事案名	調査主体	取りまとめ財務局	元年度予算額	2年度予算案	増▲減額	反映額
外務省	(9) 遠隔多者間会議システムに係る経費	本省	—	3	4	2	—
事案の概要	外務省では、緊急事態発生時に本省と在外公館の間で迅速かつ確実なコミュニケーションを行うために、本省と17在外公館において遠隔多者間会議システム（以下、「テレビ会議システム」という）を配備している。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

テレビ会議システムの活用について

国際機関でのテレビ会議（スカイプ等含む）の使用状況を踏まえると、外務省においても使用機会を一層増やすべく、在外公館ではテレビ会議システムの使用方法の見直しを図るべきである。また、本省では、引き続き国際機関等との打ち合わせも含め、テレビ会議システムの更なる使用に努めるべき。

出張旅費の効率化について、外務省効率化推進計画にあるとおり、出張旅費の効率化が図られているか検証すべき。

反映の内容等

テレビ会議システムの活用について

テレビ会議システムの活用について、本省においては平成30年度実績で年間約230件使用している状況ではあるが、引き続き各課室の要望を踏まえつつ、国際機関等との打ち合わせでの活用も含め、更なる利用促進に努めていく。

また、利用実績が少ない在外公館配備機器については、緊急事態以外の用務でも利用できることを周知し、利用の促進を図っていくこととする。

(注) 令和2年度には、現有機器の保守期間終了に伴い、次期機器の運用開始を予定している。

出張旅費の効率化について、これまでも出張案件の優先順位を踏まえた無駄の無い効率的な予算執行に努めているところであるが、テレビ会議を活用するなど、引き続き更なる効率化について検証していく。

<参考>

・テレビ会議システム外務本省使用実績（7月～11月）
平成29年度:119回 平成30年度:93回 令和元年度:145回

・テレビ会議システムによる節約額（令和元年7月～11月）
①出張案件からテレビ会議システムに切り替えた案件 8件
②上記①に伴う節約額（旅費） 約12百万円